

「就任にあたって」

愛知県支部 支部長 石田 洋子(春日井保健所)

令和3年度全国保健師長会愛知県支部長を務めさせていただくことになりました。支部長の役は大変身に余るものですが、役員と協力して職責を果たしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の「第4波」、「第5波」のコロナ禍の中で始まりました。特に「第5波」では、急激な感染拡大により保健所業務が逼迫していた際、市町村の保健師長の皆様におかれましては、保健師等の応援派遣にご協力いただき、本当に感謝しております。この場をお借りして、お礼を申し上げます。

この新型コロナ感染拡大に伴う対応を通して、一連の活動を「災害対応」と捉えると、災害時保健活動の展開を踏まえながら、統括保健師として現場でのコロナ対応と人材育成との両輪で回していくことが必要でした。また職場全体の管理職間の情報共有やマネジメント能力も求められていたかと思っております。保健所の目指す方向性と保健師の専門性を活かしながら、方針の決定や他職種との協力体制の構築等、感染症対策における保健師の役割がクローズアップされたのではないのでしょうか。災害と同様、職場全体のチームワークが重要であり、チームマネージメントの力量も問われていくことと痛感しました。

全国保健師長会の令和3年度の活動テーマは、「未来を創造する公衆衛生看護活動の展開～保健師活動の原点から住民とともに創る未来～」です。災害も含め複雑多様化する地域の健康課題解決に向けて、地域に責任を持った活動の強化を目指し、ブロック及び支部では現任教育の充実や統括保健師の役割の明確化などに取り組むこととしています。

愛知県の会員数は、令和3年8月現在227名となっており、全国でも兵庫県、埼玉県に次いで会員数が多い支部です。会員の皆様に役立つ研修企画や全国保健師長会の情報発信等、活動テーマを意識した取り組みや活動が展開できるよう努めてまいりたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。



「つながりに感謝」

愛知県保健医療局健康医務部医療計画課 担当課長 出口 さとみ

日ごろから保健行政にご協力いただきありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症「第5波」では、県内の一日の感染者が「あっ」という間に1,000人を超え、さらに、2,000人を超え、保健所では、日にちが変わるまで対応していても感染者に対して十分な支援ができなくなるという状況になりました。ワクチン接種等でお忙しいとは思いますが、藁をもすがる思いで、市町村へ応援の依頼をさせていただきました。急な依頼にもかかわらず多くの保健師等を保健所へ派遣いただき、本当に感謝しております。平時のつながり(関係)の先に有事の際のつながり(関係)があると言われておりますが、第5波ではそのことを実感いたしました。今後もこのつながり(関係)を大切にしていきたいと考えております。

コロナ禍で事業実施に多くの苦労があるかと思いますが、保健師活動の基本は変わらないと思っております。新しい手法を取り入れながら保健師らしい仕事ができると良いですね。



「愛知県保健師長会に寄せて」 愛知県市町村保健師協議会 会長 浦田 浩子(知立市)

日頃より、保健師長会の皆様には、大変お世話になり感謝申し上げます。

COVID-19の流行は、ワクチン接種や治療薬の開発により徐々に新たな局面に変わっていくことが推察されますが、2年近くに及び感染症業務対応と並行し公衆衛生活動にご尽力されている皆様に感謝申し上げます。

さて、愛知県市町村保健師協議会は、44年目を迎え、令和3年度の会員は53市町村1,174人となっています。当協議会もCOVID-19の影響を受け、運営上の困難性がありますが、この社会変化に対応すべくオンライン式会議や研修を取り入れ実施しております。

今後とも保健師長会の皆様には、当協議会の会員とともに保健師の資質向上を目指し、連携を図って参りたいと存じますので、ご指導、ご協力の程よろしくお願いいたします。

各ブロックからの寄稿～コロナ禍での保健師活動～

「コロナ禍での保健師活動 ～SNS相談をとおして思うこと～」

愛知県保健医療局健康医務部医務課こころの推進室 松本 華子

本県の2020年の自殺者数が、前年から増加したことは皆さんも御承知のことと思います。

そのため、県では、昨年11月からSNSを活用した相談窓口「あいちこころのサポート相談」を開設し、多くの相談をお受けしています。この相談の中で、最近特に目立つのが、「何ですぐに相談にに応じてくれないの？死ねってこと？」、「親には絶対知られたくない。死ぬ方法を教えて」、「SNS相談以外に相談するのは嫌」といった10代後半から20代前半の若者からの発言です。すぐに相談に対応できなければ、「自分は大切に思われていない」と感じ、悩みが学校の問題であっても、親に叱られる、うるさがられるからと家族に相談できず、一人で悩みを抱えています。そして、自分の命に関わる問題の解決方法を、SNSに求めてくるのがとても気になります。SNS相談は現実の相談支援への入り口であり、問題解決には、「人」と出会うことが必要です。しかし、相談者は「人」と上手に関係を結ぶ自信がないことを訴えます。

乳幼児期に親子の関係をちゃんと築けていたのか、その中で、援助希求力を育むことはできなかったのかと感ずることが多々あり、私たち保健師の役割を改めて思う今日このごろです。(令和3年10月)



「コロナ禍だからこそ大切な保健師活動」 日進市健康福祉部健康課 小川 まゆみ

日ごろから、コロナ禍の中でも、方法を模索しながらも保健師活動を継続し、住民支援を大切にしたいと考えています。特に母子保健分野では強く感じています。

里帰りや祖父母の来所支援が困難など予定していた支援が受けられない、ママ同士で解決できていた悩みが解決できないなど、平時であれば上手に周囲の手を借りてできていた育児に戸惑いや不安を抱えている人が増えています。だからこそ、少しでも育児の孤立化を防ぎたいと、個々に合わせた丁寧な支援とともに、感染対策を十分に講じながら健診や教室等を継続することもその手段の一つと考え、改めてすべての事業について必要度、優先順位、内容の精査等見直しを行いました。また、具体的にどのような対策を実施しているのかを積極的に周知し、来所しやすい環境を整えました。保健師同士が情報共有でき、保健師自身も悩みを抱え込まないよう話しやすい環境づくりにも心掛けており、今後もみんなでコロナ禍を乗り切りたいと思います。(令和3年10月)

「中核市保健所の立ち上げとコロナ対応」

一宮市保健所健康支援課 長谷川 永子

一宮市は令和3年4月中核市「一宮市保健所」として、保健総務課・保健衛生課・保健予防課・健康支援課の4課体制でスタートしました。予想通り4月早々新型コロナウイルス感染症は第4波に突入し、通常業務の確立もできないうちに主務課の保健予防課は大混乱となりました。GW前からは所内全身体制となり、疫学調査は獣医師・薬剤師・保健師看護師職で平日・土日も含めた応援体制を調整しました。第5波は予想以上の大爆発で1日100件の調査をする日々が続き、福祉部の保健師にも応援を依頼して乗り越えました。健康支援課保健センターではコロナワクチン接種にも従事しており、先が見えない日々が続きます。この歴史的な節目と、未曾有の体験を後々の保健師活動の中で語り継ぐことが出来るように、統括保健師として役割を果たして行きたいと思っています。(令和3年10月)



「新型コロナウイルス感染症にかかわる業務について」

岡崎市保健部保健予防課予防接種係 高橋 恵美子

岡崎市では、保健予防課が新型コロナウイルス感染症対策・ワクチン接種業務を実施しています。保健所各課の保健師を中心として、様々な立場の保健師が応援体制をとっているのは言うまでもなく、感染者増加時や集団接種実施に関しては総合政策部が中心にその状況に応じて全庁的な応援体制を調整しています。

1日に100人を超える患者が発生した第5波では、陽性者や濃厚接触者の健康観察・疫学調査等は、全庁に配属されている保健師や保健部4課の多職種が一丸となって対応した結果、電話回線が不足するほどでした。また、ワクチン接種については、直営の公共施設型を中心としているため、各部署から選挙事務並みの職員を動員しています。情報共有を始め、様々な調整を担当しながら「全庁的な取組は大変なことだ」と改めて実感しています。

今回の感染症対策・予防接種業務に携わることをきっかけとして、多くの市役所職員に保健所の仕事や保健行政に携わる職種を知っていただき、つながる機会となるようにと願っております。(令和3年10月)

「地域住民を守るチームワークのコロナ対応」

豊川保健所健康支援課 後藤 恵子

当保健所は、1年前、高齢者施設でのクラスター発生時に、DMAT医師によるゾーニング、ハイリスク高齢者への地区医師会医師の対応、市民病院の感染管理認定看護師の支援協力等、保健所の感染予防指導と施設スタッフへの心のケア等の活動に加えた地域専門職のチームワークで乗り切りました。その経験は、現在も管内の高齢者施設や病院でのコロナ患者発生時の対処法の判断材料として役立っています。

今年度、職域や学生、学童、乳幼児の患者発生が増え、集団所属担当者との対策を練る機会が増えています。当管内は、ブラジル、フィリピン、ベトナム、中国、ペルー等外国人労働者とその家族が多いため、会社の通訳者や学校の外国人教師、市役所の通訳担当者の協力を得ながら、患者とその家族が安心して治療と予防対策に臨める様に努めています。

日ごろ地域で住民を支えている人々との連携の重要性を強く感じるこの頃です。(令和3年9月)



令和3年度全国保健師長会の主な事業の報告とお知らせ

令和3年度愛知県支部総会 日時：令和3年6月18日（金） 書面審議

●書面審議結果をもって議決されました。

議案	承認	不承認
第1号議案：令和2年度事業報告	226名	0名
第2号議案：令和2年度収支決算報告	225名	1名
第3号議案：令和2年度監査報告	226名	0名
第4号議案：令和3年度活動方針・事業計画(案)	226名	0名
第5号議案：令和3年度収支予算(案)	226名	0名
第6号議案：令和3年度役員選出	226名	0名

○令和3年度役員

○愛知県支部会員数 計227名

支部長	石田 洋子	春日井保健所
副支部長	古橋 完美	愛知県感染症対策課
	本塚 真弓	豊橋市
ブロック幹事	名古屋 (会計)	塩瀬 浩子 愛知県職員厚生課
	尾張東	岡元 洋子 瀬戸保健所
	尾張西 (書記)	樋口 和佳子 一宮市
	西三河	鈴木 美奈子 高浜市
	東三河	後藤 恵子 豊川保健所
監事	戸田 輝子	清須保健所
	城谷 睦	岩倉市

ブロック	計	県	中核市	市町村	その他
名古屋	13	13	0	0	0
尾張東	42	9	0	33	0
尾張西	61	9	20	32	0
西三河	51	6	38	6	1
東三河	60	8	26	26	0
計	227	45	84	97	1

☆全国保健師長研修会（オンデマンド配信）

令和3年11月25日～

令和4年2月24日（3か月間）

☆全国保健師長会代議員総会

令和3年11月27日（土）書面審議



【全国保健師長会愛知県支部研修会予定】

第1回研修会

【日時】令和3年11月8日（月）から
令和3年11月23日（火）まで
【方法】YouTube動画にアクセスし視聴
【講演】『若々しく、健康&元気に長く働きたい～そんな貴女へのメッセージ～』
【講師】産婦人科医・スポーツドクター
宮本 由記 氏

第2回研修会

【日時】令和4年2月5日（土）午後
【方法】集合研修と後日の動画配信
【講演】『外国籍住民と共生する地域
づくり～その課題と展望～』
【講師】金城学院大学人間科学部
教授 朝倉 美江 氏